

令和7年度 園自己評価表

社会福祉法人 清香会
園名 千駄ヶ谷りとるばんぷきんず

園は常に質の高い保育が求められている。そのために自己評価を通し保育の専門性を見つめる機会として評価を実施し、さらなる保育の向上を目指していく。

【評価指標】

- A … 適正
- B … 一部検討を要する
- C … 改善を要する

【評価内容】

1、保育理念・目標・計画・評価

内容	評価	意見・改善策
保育所保育指針と保育理念・目標の関係を理解し、全体の計画を作成している	A	保育所保育指針と園の理念を基に、都市型園の特性を踏まえながら子ども一人ひとりに応じた保育計画を作成した。毎月のクラス会議で子どもの姿を共有し、職員間で意識を揃えながら保育を進めている。振り返りを通してPDCAを意識した改善を行い、組織テーマ・園テーマを日々の保育に結びつけている。園の環境を活かした多様な経験を通じて、子どもたちの成長を支えている。
全体の計画に基づいた具体的な指導計画を作成している	A	
多様な保育需要に対して地域や保育所の特性を考慮した柔軟な計画を作成している	A	
各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢にあった指導計画・個々の発達にも留意したものを作成している	A	
保育士は自らの保育実践を振り返り評価し専門性の向上や改善に努めている	A	

2、保育内容

子どもの発達過程やその連続性を踏まえ、保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう必要な事項に配慮して保育をおこなっている	A	子どもの発達や家庭状況を踏まえて個々に応じた関わりを行い、生活や遊びの中で「ねらい」が達成されるよう保育を進めた。気持ちを受け止めて信頼関係を築き、安全で衛生的な環境を整えながら心身の状態を多面的に把握している。行事は振り返りや保護者の意見を反映し、日常とつながる内容へ改善した。サークルタイムでは子どもの意見を取り入れ、行事に向けて自らアイデアを出す姿が見られ、主体的な参加が促された。
子どもの気持ちを理解し信頼関係を築いている	A	
子ども達が日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に勤めている	A	
身体的、精神的、情緒的発育や家庭環境及び食事習慣など、総合的に多面的に子どもの状態を把握している	A	
行事の計画・実施・評価・改善の体制をとっている	A	

3, 園の組織・役割分担

内容	評価	意見・改善策
豊かな集団の育成を目指したクラス経営が進められ、各クラスの連携が円滑に行われている	A	法人研修や園内研修を通して職員の専門性を高め、クラス間の連携を円滑に進めた。防災センターとの火災・地震訓練に加え、ビルの救命救急研修や消火訓練を活用して危機対応の知識を深めた。BCP や安全計画を見直し、緊急時の流れや行動を園内研修で共有することで安全策の共通理解を強化した。職員間の報告・連絡・相談も機能し、環境維持と安全確保に努めている。
保育に関わるさまざまな知識や技術の向上に努め研修に参加し、自己研鑽を積んでいる	A	
全職員は施設内外の環境維持向上に努め、安全策の共通理解や体制づくりに努めている	A	
職員間で報告・連絡・相談の体制が機能している	A	
火災・地震・不審者侵入などの危機管理に努めている	A	

4, 家庭・地域社会

家庭と連携を図るように努めている	A	LINE 配信や掲示物で子育てイベントを周知し、新規参加者の来園につなげた。保活ワンストップの園見学申し込みを導入し、地域家庭との接点を広げている。ブログや動画で日々の様子を発信し、家庭との連携を深めた。参加者の固定化を受けて内容や告知方法を見直し、より届く発信へ改善を進めた。関係機関とも連携し、地域や保護者の意見を運営に反映している。
関係機関と連携を図っている	A	
地域や保護者の意見を施設運営に反映している	A	
地域の子育て家庭に対し情報発信をしている	A	

5, 事務管理・運用

個人記録簿は適切に記載し整理保管している	A	個人情報や会計関係の書類を事務所の鍵付き棚で適切に保管し、職員には守秘義務の研修を行った。会計処理は公金の適正な入出を徹底し、透明性を確保している。
職員に園内で知りえた事柄に対しての守秘義務の周知徹底をしている	A	
各種会計を適正かつ適切に処理している	A	

6, 情報発信

園だより、クラスだより、給食だより、ホームページなどで施設の情報を発信している	A	園だよりやブログ、登降園管理システムを通して園での様子を発信し、行事では過程が分かる動画や写真を用いて理解を深めた。今年度は childcare へ移行し、個人情報を厳守しながら保育の様子を毎日配信している。外部向けには定期的な情報発信を行い、園の取り組みを継続して伝えている。
---	---	---